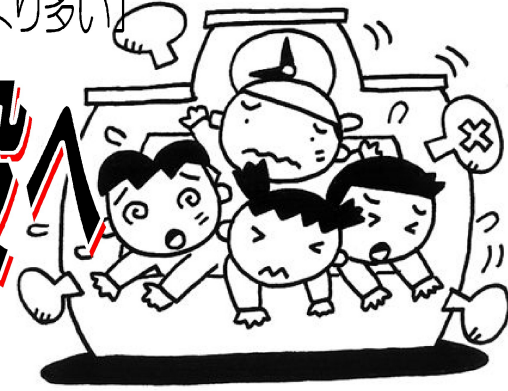


「南流山小がパンクする」「2025年度には、おおたかの森小学校1年生だけで、西深井小・新川小の全校児童数より多い」

# 南流山地区・おおたかの森地区 学校新設へ



## 児童急増を受け ようやく決断

9月5日からスタートする流山市議会（19年第3回定例会）の冒頭、市長が南流山地区とおおたかの森地区に新設校を建設することを表明することが分かりました。

おおたかの森地区では、すでに大畔地区に新設小学校（2021年（令和3年）4月）、新設中学校（22年4月）の開校を予定し、準備が進んでいます。それでも児童急増を受け、教室不足が発生することから新設校建設を断念したものです。

日本共産党は、唯一、議会で何度も取り上げ、昨年10月には具体的な対応策も示していました。

小田桐たかし市議は、「決断の遅れは決定的。計画的な

## 調整池の上に4階建て校舎？

南流山地区では、区画整理区域の雨水を一時的に貯留する調整池の上に4階建ての校舎を建設する計画（裏面参照）です。防災対策や学区設定など課題は山積です。しかも調整池全体面積は1.5畝。学校敷地周りの整備も視野に入れば、市内で最も小さな学校敷地面積1.2畝程度も予

街づくりに基づく学校の適正配置も適正規模も壊れ、学区変更に伴う子どもへの影響等、今後のきめ細やかな対応がより欠かせない」と話します。

| 学校        | 2019. 5 |     | 25年度 |     |
|-----------|---------|-----|------|-----|
|           | 児童数     | 学級数 | 児童数  | 学級数 |
| おおたかの森小学校 | 1454    | 48  | 2153 | 67  |
| 新設小（大畔地区） | —       | —   | 1126 | 35  |
| 南流山小学校    | 976     | 34  | 2159 | 68  |

今年5月31日に公表された児童生徒の推計値・想定値

測されます。

「必要に応じ、柔軟な対応」敷地が小さい分、校舎を高く：市長の言い訳はもともとらしく聞こえますが、そもそも学校環境のあるべき姿さえ持ちあわせず、街づくりも、学校整備も場当たり。その場限りの行政運営の罪は免れません。



# 小田桐たかし

日本共産党市議会議員